

全国産業安全衛生大会 in 横浜

10月17日開幕へ キックオフ

伊藤 元重氏の特別講演など決定

中央労働災害防止協会（会長 さかきばらさだゆき 榊原 定征・日本経済団体連合会会長）は、[平成30年10月17日（水）から19日（金）までの3日間](#)、横浜アリーナ、パシフィコ横浜などで「[第77回 全国産業安全衛生大会](#)」（別添1）を開催します。

本大会は昭和7年の第1回開催以来、経営者、産業安全・労働衛生スタッフ、管理・監督者、産業保健スタッフ、大学等の教育機関など、「働く人の安全と健康づくり」に携わる約1万人が参集する国内最大の安全衛生イベントとして毎年開催しており、今秋で77回目を迎えます。

横浜での開催は、1993年（平成5年）以来、25年ぶりの開催となります。

今年は「安全・健康の決意新たに トップの率先 現場の改善」をテーマに掲げました。経営者らトップが率先して高い安全衛生意識を持って企業全体を安全・健康な風土へと導く「トップダウン」と、現場での安全衛生活動の改善の積み重ねにより労働災害のない職場環境を目指す「ボトムアップ」との融合を、講演やシンポジウム、パネルディスカッション、分科会での事例発表など多彩なプログラムを通じてサポートします。

初日の総合集会では、東京大学名誉教授で学習院大学教授の伊藤元重氏が、「日本の未来—働き方改革、高齢化、技術革新」と題して、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）などの技術革新や高齢化の進展に伴い“今後どのような働き方の改革が必要となるのか”について特別講演することが決まりました。

また、会期中、分科会等でも著名人の講演を含め幅広いメニューを用意し、さまざまな角度から「働く人の安全と健康づくり」を考える場を創出。約11,000人の参加を見込んでいます。

併せて、本大会と同時開催で、国内最大の保護具・機器の展示会「[緑十字展2018 —働く人の安心づくりフェア—](#)」（別添2）をパシフィコ横浜で行います。緑十字展は入場無料で、会期中、15,000人の来場を見込んでいます。

【実行委員会ご取材のお願い】

本大会および緑十字展のキックオフとなる第1回実行委員会を、2月8日（木）15時30分から、ホテル横浜ガーデン（横浜市中区）において、公益社団法人神奈川労働安全衛生協会（会長：村田和彦・日産自動車株式会社 理事 横浜工場工場長）の主催により開催し、大会の概要、分科会等の主な構成などについて話し合われる予定です。

実行委員会は開会から閉会（17時15分予定）までご取材いただけます。開催概要は別紙をご参照ください。よろしくお願いいたします。

※この資料は、神奈川県政記者クラブ、横浜市政記者室、厚生労働記者会、労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、鉄鋼研究会、自動車産業記者会に配布しています。

中央労働災害防止協会	教育推進部長	中屋敦 勝也
	同部次長兼事業サービス推進センター	
	イベント事業課長	大久保 利一

【照会・取材連絡先】

中央労働災害防止協会	総務部 広報課長	高橋 まゆみ
------------	----------	--------

第 77 回(平成 30 年度) 全国産業安全衛生大会 開催要領

【目的】全国各事業場における産業安全、労働衛生の関係者が一堂に集い、労働安全衛生にかかる功績者に対する表彰等を行う式典や事業場からの研究発表、最新の安全衛生の課題に対応した講演等を通じて産業安全、労働衛生の推進向上を図り、もって労働災害防止に寄与する。

【大会テーマ】安全・健康の決意新たに トップの率先 現場の改善

【主催】中央労働災害防止協会

【協力等】協力

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会
協賛(予定)

建設業労働災害防止協会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

林業・木材製造業労働災害防止協会

各都道府県労働基準協会(連合会)

後援(予定)

厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、スポーツ庁、警察庁、ILO 駐日事務所、神奈川県、横浜市、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会、一般社団法人神奈川県経営者協会、横浜商工会議所、神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会、公益社団法人日本保安用品協会、日本労働組合総連合会神奈川県連合会、公益社団法人神奈川県医師会、神奈川県社会保険労務士会

【開催地】神奈川県横浜市

【会期】平成 30 年 10 月 17 日(水)～19 日(金) <3 日間>

【参加対象者】全国各事業場における産業安全、労働衛生の関係者

【参加予定数】約 11,000 名(招待者を含む)

【参加費】12,900 円(賛助会員 6,400 円) ※いずれも消費税込み

【会場】総合集会(平成 30 年 10 月 17 日(水))：横浜アリーナ
分科会(平成 30 年 10 月 18 日(木)、19 日(金))：パシフィコ横浜ほか

りょくじゅうじてん
緑十字展2018
—働く人の安心づくりフェアー— 開催要領

- 【目的】 安全衛生保護具や作業環境改善機器等の展示を通じて、職場における安全衛生水準の向上を促進し、労働災害のない、働く人の心身両面にわたって健康で快適な職場環境の形成に寄与する。
- 【内容】 安全と健康の確保に係る機械・機器、安全衛生保護具、職場環境改善、作業方法改善、健康増進・リフレッシュ関連分野など、広範な分野の最新の機器、設備、情報について約100社が出展する。
- 【主催】 中央労働災害防止協会
- 【協力】 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会
- 【協賛】 日本労働災害防止推進会
- 【後援】 (予定)
厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、スポーツ庁、警察庁、神奈川県、横浜市、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会、一般社団法人神奈川県経営者協会、横浜商工会議所、神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会、日本労働組合総連合会神奈川県連合会、公益社団法人日本保安用品協会、公益社団法人神奈川県医師会、神奈川県社会保険労務士会、NHK横浜放送局
- 【開催地】 神奈川県横浜市
- 【会場】 パシフィコ横浜（展示ホールD）
- 【会期】 平成30年10月17日（水）～19日（金）＜3日間＞
- 【出展分野】 (1)安全衛生関連分野 (2)機械安全関連分野 (3)職場環境改善関連分野 (4)作業方法改善関連分野 (5)健康増進・リフレッシュ関連分野 (6)防災関連、地球環境保全・温暖化対策分野 (7)その他
- 【来場数見込】 15,000名
- 【参加対象者】 全国産業安全衛生大会参加者、地元事業場の経営首脳及び安全衛生・環境保安・人事・労務担当者、産業医、保健師、衛生管理者、自治体の安全衛生担当者、工業系の大学・専門学校、工業高校等の教職員・学生等
- 【入場料】 無料

第 77 回全国産業安全衛生大会 in 横浜

第 1 回実行委員会

平成 30 年 2 月 8 日(木) 15 時 30 分～17 時 15 分 ホテル横浜ガーデン

開 会

- 1 あいさつ 公益社団法人神奈川労務安全衛生協会 会 長 (20 分)
神奈川労働局長 局 長
中央労働災害防止協会理事長 理事長
- 2 実行委員及び顧問・参与の方々を紹介 (15 分)
・大会実行委員会会則の制定 神奈川労務安全衛生協会
- 3 全国産業安全衛生大会について 中央労働災害防止協会
1) 平成 30 年全国産業安全衛生大会 in 横浜について (15 分)
・第 77 回全国産業安全衛生大会 in 横浜の概要
・緑十字展 2018 の概要
2) 全国大会のプレゼンテーション (40 分)
・全国大会の意義
・第 52 回横浜大会、第 76 回神戸大会の紹介
- 4 これからの取り組みについてお願い 神奈川労務安全衛生協会 (10 分)
- 5 意見・質問、その他

閉 会

○ 意見交換会 17 時 15 分～

※取材のお問い合わせ：中央労働災害防止協会総務部広報課
電話：03-3452-6542 FAX：03-3453-8034
※当日のお問い合わせ：(公社) 神奈川労務安全衛生協会
電話：045-662-5965 FAX：045-201-7122